

さとうきび土づくりの指針

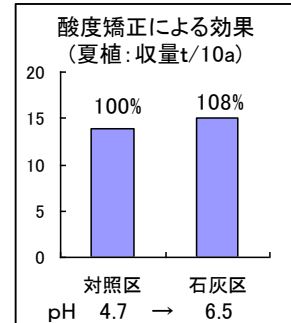
1 深耕，心土破碎

- (1) さとうきびは深根作物で，根の伸長・発達は生育に大きく影響する
- (2) 60cm深耕すると，土中の空気・水分が増え，根が発育する
- (3) 耕起反転すると，土中の害虫・雑草の密度が下がる



2 土壌診断に基づいた土壌改良

- (1) さとうきびの適正 pH は 6～7。植付前に必ず土壌診断を行う
- (2) 酸性が強いと，低単収となる。苦土石灰等による酸度矯正を行う



3 有機物による土づくり

堆肥投入

- (1) 牛ふん堆肥は全面散布で 3～4 t / 10 a を投入する
- (2) 植付前に散布できない場合は，発芽揃い後から最終培土前に株元散布を行う。全面散布の半量で良い。

堆肥による土づくり効果

	土を軟らかくする	土づくり	養分の補給				
			チンソ	リン酸	カリ	石灰	苦土
牛ふん堆肥	◎	○	○	○	○	△	△

◎：効果が高い，○：効果がある
△：効果が低い，×：効果がない

有効根群域	60cm以上
腐植	3%以上
pH(H ₂ O)	6～7
EC	0.3以下
石灰(mg/乾土100g)	392～420
苦土(mg/乾土100g)	32～60
カリ(mg/乾土100g)	19～47
リン酸(mg/乾土100g)	10～50

苦土石灰	→	pH調整 石灰 苦土
苦土重焼リン	→	リン酸 苦土
ようりん	→	リン酸 石灰 苦土 ケイ酸
ケイカル	→	石灰 苦土 ケイ酸

【土壌診断センターの有効活用で，健全な土づくりを進めましょう！】

97-3596